

# 母と子のにわ

—利用者みなさまと母子医療センターをつなぐ—

第 42 号

地方独立行政法人大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター

2019 Summer

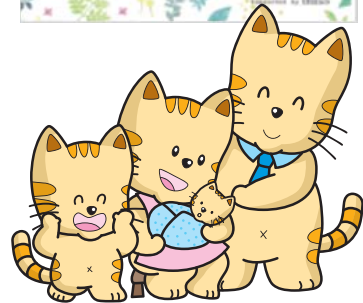
- 1 出産お祝い品がカタログギフトからも選べるようになりました  
駐車場を整備しました
- 2 シリーズ 大阪母子医療センターの高度な医療「糖尿病の最新治療」
- 3 がんばり屋さん、きっずセミナーを開催しました
- 4 診療待合番号をスマートフォンで閲覧できるようになりました  
イベント紹介

## ♡ 出産お祝い品がカタログギフトからも選べるようになりました

当センターでは、ご出産された方に記念品として「出産お祝い品」をお贈りしています。

現行の「泉州タオルセット」と「マザーズバック」に加え、4月1日から「カタログギフト」から好きな商品を1点選んでいただくこともできるようになりました。このカタログには、お誕生記念になる名入れ商品や育児に役立つ商品、赤ちゃんが触れるものだから素材や肌触りにこだわったもの、安心・安全な商品などこだわりを持って選んだお母さんに人気の10点が掲載されています。ご出産後に、病棟看護師から案内いたします。

この「出産お祝い品」がこれからの育児の応援になればうれしく思います。



## ♡ 駐車場を整備しました

ゴールデンウィークの期間を活用して、駐車場の整備を行いました。工事期間中は、駐車場の利用に際し、ご迷惑をおかけしましたが、皆さまのご理解とご協力ありがとうございました。

今回、段差ができていた路面を再塗装し、ラインを引き直しました。障がい者用駐車スペースは、障がい者の方が止めやすい駐車区画となるように整備し、「ゆずりあい駐車スペース」も5台分設置しました。併せて、研究棟前の普通車駐車場を軽自動車専用に変更するなど、今回の駐車場の整備により、普通車4台、軽自動車13台の合計17台分を増設することができました。

当センターでは、今後も駐車場の改善を行い、利用しやすい駐車場となるよう努めてまいります。



## シリーズ 大阪母子医療センターの高度な医療

### 糖尿病の最新治療

当センターには、糖尿病の子どもや妊婦さんも多く通院されています。小児期や妊娠中の血糖コントロールは特に難しく、いろいろな合併症を起こさないようにするためには、正確な血糖値を知り、その結果を基に食事やインスリン療法を徹底することが大切です。血糖を上手にコントロールするための最新の機器や手法を紹介します。

#### 1) 血糖モニタリング：CGM

今までは血糖モニタリングとしては血糖自己測定 (SMBG) を 4～7 回 / 日行い、その結果を基にインスリン量を調整していました。最近連続血糖モニター (CGM) が導入されるようになり、SMBG では予測不可能な時間帯 (特に夜間、明け方) での血糖変動を推測することができるようになりました。リアルタイムに経時変化がわかる CGM を利用できる施設は限られていますが、当センターでは使用できます。

#### 2) 食事療法：カーボカウント

栄養素のなかで食後血糖値に最も大きく影響するのは炭水化物 (糖質 + 食物繊維) ですので、摂取する炭水化物 (カーボ) 量をカウントし、糖尿病の食事療法に役立てる方法である「カーボカウント」が最近取り入れられるようになりました。カーボを多く含むものが何かを知って、食事の炭水化物量を調整し、摂取糖質量を一定にする「基礎カーボカウント」と、摂取糖質量に応じてインスリン量を調整する「応用カーボカウント」があります。

日々の糖質摂取量は一定にはできません。特に子どもの場合、成長に伴って必要な栄養、糖質量は変化しますし、妊婦さんも妊娠週数や体調によって食事摂取量が変わります。その都度、インスリン必要量も変わりますので、その変化に対応できるカーボカウントは、非常によい方法です。

#### 3) インスリン療法：CSII/SAP

インスリン頻回注射では血糖コントロールが難しい場合、インスリンポンプ (CSII) に切り替えます。最近インスリンポンプにリアルタイム CGM 機能がついたシステム (SAP) が日本でも使用できるようになりました。CGM で間質液中のグルコース濃度を測定し、随時ポンプへ送信、ポンプの画面にグルコース値が随時表示されます。モニターにリアルタイムにグルコース変動が表示され、異常な高血糖・低血糖時はアラームで知らせてくれ、一時停止機能がついている機器もあります。

海外では CGM とインスリンポンプが完全に連動し、CGM のグルコースデータに応じてインスリン量を変化させる機能がある機器も使用されており、今後我が国での導入も期待されています。

当院では、このような最新の治療法 (CGM・カーボカウント・CSII/SAP) をとりいれ、小児や妊婦さんの血糖管理を行っています。



(母性内科 主任部長 和栗 雅子)

## がんばり屋さん

Y.Hくん

息子に母子医療センターってどう？と聞くと、「母子センター、いのうえ先生 しゃぼんだま！！おかもと先生、もしもし うれしい トムとジェリー みる」と言っています。このように助詞なしの2語文で、息子のことをある程度知っている者とかろうじてコミュニケーションがとれる？とても元気な息子です。がんばり屋さんで息子のがんばりを紹介する機会をいただきました。書いてみる？と聞くと、たくさん字をならべて書いてくれましたが、みなさんに読んでいただくには難しいので、母親が代わりに書かせていただいています。

息子は 2009 年に母子医療センターで生まれました。分娩室がばたばたして子どもがどこかに連れていかれ、数時間ひとり残されたこと、走り去り際に「あっ、おめでとうございます！」と振り返り言われた先生の表情が未だに鮮明に蘇ります。

生まれながらの病気のため知的障害があり、特に言葉の遅れが目立ちますが、キャラクターからか学校でも楽しくすごしているようです（本人からはわからないので、周辺情報から推測しています）。先生やお友達の言っていることがおそらく半分くらいしか理解できていない中、周りを見て、まねて、なんとか過ごしていること自体、がんばり屋さんだと思っています。様々なことにチャレンジすること、毎日宿題をすること、拙い言葉でも学校生活を送っていること、知的障害を持ちながら一生懸命過ごすこと（本人は病識はないですが）は、親が想像する以上のことなのかと考えています。その中でもダンスが好きで、毎日おどり、レッスンに通い、様々な発表会に出ています。こういったことは、本人にとったら“がんばっている”わけではなく、至って普通のことのようです。特別に“がんばる”という概念を十分に持ち合わせていない中、好きなこと、皆がやっていることを普通にできることが、知的障害のある子どものすごさだと思っています。

小さいころから通う母子医療センターは、息子にとっては、大好きな居場所です。“大きくなったね”“しっかりしてきたね”と声をかけられることはとてもうれしく、安心感や自信につながっているようです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

がんばり屋さんのコーナーでは、登場してくださる方を募集しています。母子医療センターで治療を受け、現在各方面で頑張っている方をご紹介します。自薦・他薦は問いません。詳細は、母子保健調査室までお問合せください。電話：0725-56-1220（内線 3241） E-mail：kikakusi@wch.opho.jp



## きっずセミナーを 開催しました

8月3日(土)、「第10回きっずセミナー～未来のきみへ病院のお仕事2019～」を開催しました。屋外は、35度を超える猛暑日でしたが、センターの中もその暑さに負けないくらいの子どもの熱気に包まれていました。



531名の応募者の中から抽選で選ばれた小学生から高校生までの346名が、AコースからHコースの8コースに分かれて様々な職業体験をしました。



## 診療待合番号をスマートフォンで閲覧できるようになりました

5月20日から診療待合番号をスマートフォンで閲覧できるようになりました。これまでは、外来の診療案内表示モニターのお近くでお待ちいただいていたのですが、スマートフォンの待合番号表アプリをご利用いただくことで、表示モニターから離れた場所でも待合状況を確認できます。また、ご自身の受付番号を登録すると、スマートフォンのプッシュ通知機能でお知らせすることも出来るので、混雑する待合周辺をさけて自由な場所でお待ちいただくことができます。

詳細につきましては、センター内デジタルサイネージでお知らせしておりますが、総合案内または各外来受付に置いてある資料もご覧ください。

病院外来アプリ  
**スマパ (Sma-pa)**



Download on the  
**App Store**

GET IT ON  
**Google Play**





## セブンスポット (無料 Wi-Fi サービス) がご利用いただけます！

セブン・イレブン母子医療センター店舗内で無料 Wi-Fi (無線 LAN) がご利用いただけるようになりました。詳細につきましては、セブン・イレブン店舗内スタッフにお問合せください。

上記サービスの通信料は利用者のご負担となります。またこれらのサービスに関するトラブルや利用者・第三者に何らかの損害が生じた場合においても、当センターは一切の責任を負いません。利用者ご自身の責任においてご利用いただきますようお願いいたします。

## イベント報告

### ボランティア活動25周年 「おもいで展」

小児部門が開設された1991年の3年後、1994年に入院中の子どもたちに遊び等を提供することを目的に有志が集まりボランティア会が発足してから今年で25年。ボランティア会設立からの経緯の年表、多くの思い出の写真や記事が展示されました。



2019年 6月17日(月)~6月21日(金)

#### 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します

#### 基本方針

- ・ 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します
- ・ 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います
- ・ 地域と連携して母子保健を充実させます
- ・ 母子に関する疾病の原因説明や先進医療の開発研究を進めます

地方独立行政法人大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840  
電話 0725-56-1220  
FAX 0725-56-5682  
<https://www.wch.opho.jp/>